

林業と福祉との連携の取組「伊達高等養護学校見学会」開催報告書

1 日時

令和6年12月4日(水) 10:30~12:00

2 参加者

17名

3 主催・協力

胆振地域林業担い手確保推進協議会 胆振総合振興局

協力 北海道伊達高等養護学校

・挨拶

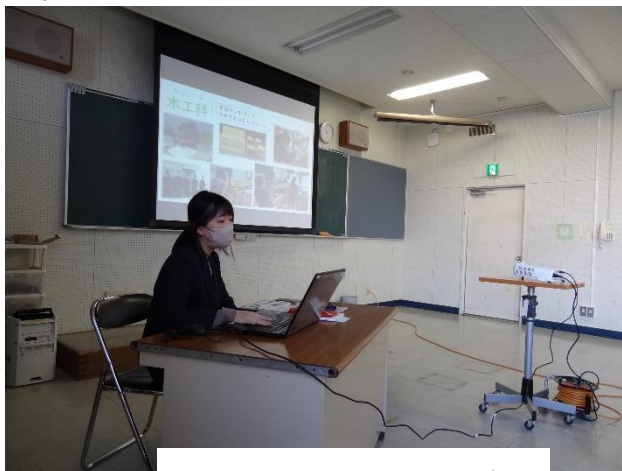


小坂会長



吉野校長

・伊達高等養護学校の説明



津田教諭による学校紹介



・作業学習（2年生）授業見学 2班に分かれて見学しました

【各作業学習製品の見学】

玄関ロビーで生徒が作製した製品を見学



【家庭総合科】一部の生徒はコープさっぽろ・だて店での販売会開催に出席
裁縫作業



【木工科】

木製ベンチづくり



【工業科】

コンクリート製品づくり（車止めの作成）



【窯業科】

陶器の製品見学



【農業科】

農産物の販売 学校で作った長ネギは太くて立派でした



【園芸科】

ドライフラワー製作作業



作成したリース



【寄宿舎の見学】

共同生活を行い自立や社会性を育成



※写真については個人情報保護のため、加工しています

○意見交換

<接し方について>

- ・製材業者：障がい者の方と一緒に仕事をする中で、質問しても話が伝わらないことがあり、教師が指導される時に心がけている事や、日頃の接し方、気をつけているところがあるので教えてほしい。
- ・学校①：言葉だけの説明だと、「わかった？」と聞くと「ハイ」と返事が返ってくるが、実際に理解していない場合が多いと思います。

このため、実際に隣で同じ作業を見せたり、手順書等を使って説明をする、というような場面は多いです。

作業学習を見てもらいましたが、1～3年生が一緒になる場面があり、習ったことを理解するためにも、3年生が1、2年生に説明をして、実際に伝えてみて、教えてもらったことが理解できるかという活動を取り入れている学科があります。

- ・**学校②**：手順書の話がありましたが、各企業にチェックリストがあると思いますので、活用していただければと思います。

あと、生徒たちは、声をかけられるときは「叱られる」と思っています。なので、できるだけ、出来たことは「これいいね」と普段から言っていただくと、これでいいんだと感じ継続できるのですが、出来ない場合、どこが悪かったのかなかなかわからないので、具体的に「ここをこうして欲しい」、「ここのやり方はこれでいいよ」と言うと伝わりやすいと思います。

<学校祭について>

- ・**製材・素材生産業者**：学校祭について、生徒が作成した皿や木工品など、非常に評判が良いとの話を聞きましたが、もし可能であれば、当組合にも生徒さんに来てもらってる関係もあるので開催の案内などをしていただけませんか？
- ・**学校①**：学校祭の案内は学校のホームページを中心にさせていただいていますが、1度持ち帰って検討させていただきたいと思います。

<林業への理解促進について>

- ・**官公庁**：学校では山に行ったり、林業を学ぶなどの機会はありますか？プログラムじゃないので多分難しいかもしれませんが。
- ・**学校①**：私が赴任して4、5年になりますが、山に行ったということは聞いていません。林務課の主催で一般の高校生向けに、林業の見学会されていると聞いており、興味を持っています。
- ・**事務局**：前回打ち合わせ時に、学校ではいろいろな職場を見学するなどの取り組みをしていると聞きました。
担い手協議会では高校に対して林業現場体験バスツアーをやっている旨の話をしたところ、興味を示していただいたところです。
製材工場への就職された生徒もいますし、実際山に行って林業を見ていただくのも就職や社会勉強の1つになると思いますので検討いたします。

<種苗業への就職について>

- ・**事務局**：種苗業者様は今回初めて参加していただきましたが、種苗業の仕事で、できそうなことなど何かありましたか？
忙しい時期があるというお話を聞きましたが。
- ・**種苗業者**：忙しい時期は4月～5月と、10月～11月。忙しいときに、手伝ってもらえると良いかなと思った。
あと、作業としては、種苗の掘り取りで、機械で苗木を掘り起こした後、抜いて土を落としてもらえれば良いので、体力的なものもあるが、休み休みやればできる仕事だと思います。ただ、それを選別するのは、慣れないと無理なところもある。
来てもらうに当たり、作業は天候に左右されるので、明日来てくれって言って雨降ったら作業ができないし、都合もあるだろうから、どうなのかなと思う部分はある。
- ・**事務局**：通年雇用ではなく、忙しい時期だけ来てもらうには、どのような方法があるか？
- ・**学校①**：学校では通年で仕事を探している生徒が多く、仕事がない時期のことを考えると、福

祉事業所で施設外就労として、企業と協力をしながら活動している福祉事業所が、伊達、室蘭などにたくさんあるので、そこを經由して、曜日とか天候によって、B型事業所とか施設療養所とやりとりされるのが良いと思います。具体的に出来そうな事業所は把握していないので各事業所に聞いていただきたい。

- ・ **事務局**：事業所の紹介はハローワークや障害者就業・生活支援センター(なかぼつ)でしてくれるのか？
- ・ **学校①**：支援協議会等もあるが、基本的には一つ一つの事業所と直接やりとりをすることになります。
- ・ **学校②**：農福連携と思われるので胆振総合振興局の社会福祉課で紹介してもらえと思う。事業所によっては時期的に閑散期になるところもあると思われるので、出かけて行って仕事をして帰る、と言うのも出来るのではないか。
- ・ **事務局**：振興局の社会福祉課に確認します。

<私生活のフォローについて>

- ・ **製材・素材生産業者**：仕事をしてもらう職場環境の整備はしているが、私生活の場面で両親、家族が面倒を見られて、そこから通うというのが一番良いと思うが、単身で来たときに私生活をフォローする場面が非常に難しい。
過去に私生活で1度、事故があった経験があり、生活環境や管理を考えると、二の足を踏んでしまうところがあり、ネックになっている。
そういった部分をカバーする仕組みはありますか？
- ・ **学校①**：自宅ではなく、グループホームや宿泊型自立訓練所などの生活の場を利用しながら、仕事をしている場面と思いますが、そういう施設を利用するときは、学校から地域の相談室へ卒業前に連絡をしています。
そこには管理者がおり、定期的に面談をしたり、本人の相談を受けたりとか、窓口の中心になりますので、お互いの話を聞く場面があるかと思います。
あとは、卒業生自身が、自分から質問とか相談ができるかが重要です。

<障がい者を雇用する企業の意見交換について>

- ・ **製材業者**：いろいろな企業に就職している状況を見て、強く思ったのが、ほかの企業ではどのように障がい者と接しているか、作業を指示しているか、どのように工夫して指示するかとか、今まで出来なかったことが出来るようになったということなどの意見交換が出来る場を設けてほしい。例えば、弊社に来てもらい、うちはこのように、障がい者と仕事しています、ということを見ていただき、アドバイスもらったり、逆にうちが訪問して見せていただき勉強させてもらったりとか。今日はそういう場面があり、参考になったと思っているので、機会があれば、企画していただければ。
- ・ **事務局**：林業の事業体にこだわる事は無いと思うので、どこか紹介してくれるようなところがあれば、そういう機会を考えたいと思います。

以上